

# 5000人の熱い、夏開幕

第89回全国高校野球選手権大会の東・西東京大会が13日、神宮球場で幕を開けた。東西合同の開会式には、島しょ部の高校など7校を除く計254校の約5000人が参加。開会式に続いて行われた東大会の開幕戦は、激しい点の奪い合いとなり、10安打した桜丘が足立学園を破り、創部4年目で夏の大会初勝利を飾った。決勝戦は、東大会が31日、14日から試合が始まる西大会は30日に行われる予定になっている。

## 夏 高校野球 都大会

開会式は午後2時に始まった。曇りの空の下、右翼席側から東大会、左翼席側から西大会のチームが入場。東京消防庁音楽隊が演奏する「栄冠は君に輝く」の野球大会進行曲に合わせ、日焼けした選手たちが力強く

## きのうの結果

東京

▽1回戦	◆神宮球場◆	8	
桜丘	030	500	
足立	020	100	
(学)	中野	300	
(足)	石塚、三上	藤原	
▽三塁打	中野(桜)	▽二塁打	池田、
長沼(桜)	石塚、藤原(足)		

# 桜丘 乱打戦制す

開会式は午後2時に始まった。曇りの空の下、右翼席側から東大会、左翼席側から西大会のチームが入場。東京消防庁音楽隊が演奏する「栄冠は君に輝く」の野球大会進行曲に合わせ、日焼けした選手たちが力強く

全選手が整列した後、昨年夏の全国制覇した早稲田の川西啓介主将(3年)が、全国大会の優勝旗を手にダイヤモンドを一周し、制球難に苦しみながらも、4-1球を投げきった。

足立学園は、一回と四回に失点するも、その裏にすくなく点を奪い返す粘りをみせ、四回から登板の三上は

# 足立学園一歩及ばず

足立学園は、一回と四回に失点するも、その裏にすくなく点を奪い返す粘りをみせ、四回から登板の三上は

# 先輩のためにも 長沼殊勲の2塁打

手荒い祝福を受けながらベンチにもどり、桜丘の長沼樹選手(2年)は、一塁手の座を譲った塚本拓也選手(3年)と無言の抱き合った。

中間を破る走者一掃の二塁打を打ち、追いつく足立

立ち上がり打ち込まれたものの、五回以降は立ち直り、二三振を奪った。

今年春、ようやくレギュラーの座をつかむと、今度試合後「塚本先輩のためには、どうしても打たなければならなかった。打たなければ申し訳ないと思った」

「開会式では、昨夏の東・西の優勝旗が返還された後、早稲田の川西啓介主将(3年)が昨夏の甲子園から持ち帰った深紅の大優勝旗を披露した。場内はひときわ高い歓声に包まれ、川西主将はスタンドからの拍手を受けながら、胸を張ってグラウンドを一周した。新チームになって以降は公式戦で結果を残せず、前評判も高くないが、「それは意識していない」という。昨年は先輩にいい思いをさせてもらった。後輩にも同じ思いをさせてやりたいし、もう一度、全国大会の優勝旗を手にとりたい」と言葉に力を込めた。

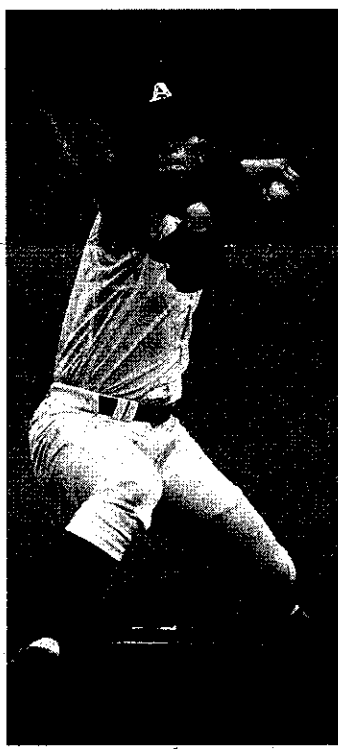


4回一死満塁、走者一掃のタイムリーを放ち、三上でカッポースする桜丘・長沼(神宮球場) 山口寛人撮影

# 初めての夏 三田の挑戦 「一番弱い、でも勝ちたい」

「初めての夏の最後の夏、やりがいがある」。初出場の三田の山中弘己投手(3年)は、あこがれの開会式に参加し、思いを新たにしていた。

三田の前身は、1923年開校が猪足。山中投手以外に経験者もいない。昨年5月に同好会が猪足。山中投手以外に経験者もいない。昨年5月に同好会が猪足。山中投手以外に経験者もいない。昨年5月に同好会が猪足。



二番手で登板力投した

# 潤投手(足立学園3年)

小学生のころに野球を始めてから、ポジションは投手一筋。エースナンバー「1」を背負った最後の夏は、ベンチからのスタートとなった。

2週間ほど前の練習中、左ももの肉離れを起こしてしまっ。練習を再開したのは、試合のわずか3日前。けがの後でブルペンに立ったのは、この試合が初めてだった。先発を譲った石塚光一選手(2年)が打ち込まれ、四回でマウンドに立つことになった。「投げたい」。そう思う反面、正直、不安もあった。

「復帰最初の試合の緊張感の中で、これだけの投球ができたのは上出来。こまめに投げられるとは思わなかった」と鈴木龍監督。「相手に勢いがあつたことが原因」とかはばった。自分より少し背の低い鈴木監督から肩を支えられた。最後までチームを支えたエースは

# 復帰戦 エースの意地

「復帰最初の試合の緊張感の中で、これだけの投球ができたのは上出来。こまめに投げられるとは思わなかった」と鈴木龍監督。「相手に勢いがあつたことが原因」とかはばった。自分より少し背の低い鈴木監督から肩を支えられた。最後までチームを支えたエースは



5点を失った。最悪の立ち上がりだった。

「開会式では、昨夏の東・西の優勝旗が返還された後、早稲田の川西啓介主将(3年)が昨夏の甲子園から持ち帰った深紅の大優勝旗を披露した。場内はひときわ高い歓声に包まれ、川西主将はスタンドからの拍手を受けながら、胸を張ってグラウンドを一周した。新チームになって以降は公式戦で結果を残せず、前評判も高くないが、「それは意識していない」という。昨年は先輩にいい思いをさせてもらった。後輩にも同じ思いをさせてやりたいし、もう一度、全国大会の優勝旗を手にとりたい」と言葉に力を込めた。

# ドームに命のアサガオ

白血病のため7歳で亡くなった新潟の男の子が育てたアサガオの種が引き継がれ、今年、文京区の東京ドームで淡いピンクの花を咲かせた。「命のアサガオ」28鉢が13日、ドーム正面入り口や場内のイベントスペースで展示された。

白血病のため7歳で亡くなった新潟の男の子が育てたアサガオの種が引き継がれ、今年、文京区の東京ドームで淡いピンクの花を咲かせた。「命のアサガオ」28鉢が13日、ドーム正面入り口や場内のイベントスペースで展示された。

白血病のため7歳で亡くなった新潟の男の子が育てたアサガオの種が引き継がれ、今年、文京区の東京ドームで淡いピンクの花を咲かせた。「命のアサガオ」28鉢が13日、ドーム正面入り口や場内のイベントスペースで展示された。

白血病のため7歳で亡くなった新潟の男の子が育てたアサガオの種が引き継がれ、今年、文京区の東京ドームで淡いピンクの花を咲かせた。「命のアサガオ」28鉢が13日、ドーム正面入り口や場内のイベントスペースで展示された。

白血病のため7歳で亡くなった新潟の男の子が育てたアサガオの種が引き継がれ、今年、文京区の東京ドームで淡いピンクの花を咲かせた。「命のアサガオ」28鉢が13日、ドーム正面入り口や場内のイベントスペースで展示された。

マスターズ水泳 90歳以上も16人 辰巳水泳場で開幕

水泳のマスターズ大会「ジャパンマスターズ2007」が13日、江東区の東京辰巳国際水泳場で開幕した。



マスターズ水泳 90歳以上も16人 辰巳水泳場で開幕

水泳のマスターズ大会「ジャパンマスターズ2007」が13日、江東区の東京辰巳国際水泳場で開幕した。